

第三則 通常需用ノ物品ニアラザル器具被服等ノ類ハ弘ク諸商賈諸工業者ニ就キテ物品ノ精粗價值ノ高低ヲ點檢シ亦ハ入札法ヲ以テ購求スヘシ

第四則 入札ハ該物品ノ見本ヲ用ヒ亦ハ其仕様書ヲ以テ品位ヲ定メ價值ノ高低ヲ判別スヘシ且入札人ハ可成丈多人數ヲ要シ開札ノ節ハ其人員ノ多少ニ應シ若干名ヲ立會セシムル等專ラ公平正確ヲ主トシ取扱フヘシ

第五則 監獄署及ヒ獄室中所用ノ備品消耗品ノ内懲役人ノ作業ニ適スルモノハ其素品ヲ買入製造シ亦ハ修繕セシムヘシ

第六則 物品代價ノ仕拂ハ其現品領収ノ后ニ限ルヘシ若シ前借ヲ許可セサルヲ得サルキハ其狀ヲ具シ裁可ヲ請フヘシ

第七則 監獄在囚ノ藥餌本署ハ和歌山病院ノ定價ニ從ヒ支署ハ獄醫ヲシテ以往一ケ年ノ見積ヲ以テ定價ヲ開申セシメ稟決ノ上其定價ニ從フヘシ

第八則 物品ノ賣却モ亦タ入札法ヲ用ヒ第四則ニ準シ取扱ヘシ

第九則 賣却品ノ代價ハ前収スヘシ其漸次交付スルモノハ適宜収納ノ期限ヲ定ムヘシ

第十則 物品賣買ニ付人民ト條約セントスルキハ先ツ其草按ヲ以テ稟議シ結納相濟タル上ハ更ニ届出ツヘシ

但入札等ノ節違約辨償ヲ要スル事件モ亦タ本則ニ準スヘシ

第十一則 土木建築ニ關シ物品賣買者ノ心得方ハ本年布第五號布達土工條規付録ニ從フヘシ
第十二則 第二第三第十各則並ニ第一則中用達ヲ定ムルコト第六則中前借金ヲ許可スルコト及ヒ第九則中適宜収納期限ヲ定ムルコトノ如キ其經濟地方稅備荒儲蓄ニ關スルモノハ常置委員ニ諮問ノ上施行スヘシ第八則ハ稟決ノ後直ニ常置委員ニ告知スヘシト雖モ時宜ニ依リ諮問ノ上施行スルコトモアル可シ
但第二則第三則ノ買入金尙拾圓未滿ハ常置委員ニ諮問ヲ要セス

第三 款 地方稅雜收入收納規則

○訓令第五十三號 二十年五月九日 各 部 郡 市 役 所
地方稅雜收入收納規則左ノ通相定メ本年六月一日ヨリ施行シ當縣明治十九年達第六百十一號達ハ五月三十一日限り廢止ス

地方稅雜收入收納規則

第一條 地方稅雜收入金ハ當廳之ヲ管理シ郡市長各部課長警察署長ニ於テ其徵收ヲ監視シ現金ハ爲換方ニ納付スルモノトス

第二條 郡市長及各警察署長ハ毎日徵收金ヲ取纏メ該當科目ニ區分シ第一號書式ノ納付書ニ現金ヲ添ヘ爲換方ニ納付ス

第三條 郡市長及警察署長ハ爲換方ヨリ領収ヲ記シタル納付書ノ返付ヲ受ルルハ每一月分取廻メ第二號書式ニ仍リ收入濟報告書ヲ製シ翌月三日以内ニ其費用主管ノ部長送付ス但該當月中徴收金ナキハ其期日内報告スヘシ

第四條 郡市長及各警察署長ニ於テ已納金ニ過誤納ヲ發見シ下戻ヲ要スルルハ第三號書式ニ據リ請求書ヲ製シ其費用主管ノ部長ヘ送付ス

第五條 前條已納金拂戻ノ証票ヲ交付セラレタルルハ領收証書ヲ第二部ヘ發送シテ該金還納ノ手續ヲナス

第六條 郡市長及各警察署長ニ於テ第三條收入濟報告ニ係ル誤記訂正方ハ第四號書式ニ依リ其費用主管ノ部長ヘ報告ス

第七條 郡市長及各警察署長ハ一周年度徴收金取廻メ第五號書式ニ據リ決算書ヲ製シ翌年度四月十五日迄ニ其費用主管ノ部長ヘ送付ス

第八條 各部課長ニ於テ直ニ收入スル金員ハ第二條ノ順序ニ據リ爲換方ヘ送付ス

第九條 各部課長ハ爲換方ヨリ領收ヲ証シタル納付書ノ返付ヲ受クルルハ每一ヶ月分取廻メ第六號書式ニ據リ徴収濟報告書ヲ製シ翌月七日迄ニ收稅部ヘ送付スヘシ但第三條ニ據リ郡市長及警察署長ノ報告アルルハ其員額ヲ加算スヘシ

第十條 各部課長ニ於テ既納金ニ過誤納ヲ發見又ハ第四條ノ請求ヲ受ケタルルハ第七號書

式ニ據リ請求書ヲ製シ收稅部ヘ送付ス

第十一條 各部課長ハ直轄收入ニ掛ル過誤納金ニシテ前條拂戻ノ交付アリタルル納人ヘ還付ノ手續ハ第五條ニ據ル

第十二條 豫算金額ニ増減ヲ生セシルハ第八號書式ニ據リ報告書ヲ製シ收稅部ヘ送付ス

第十三條 各部課長ハ一周年度分徴收金取廻メ第九號書式ニ據リ決算書ヲ製シ翌年度四月三十日迄ニ收稅部ヘ送付ス

第十四條 郡市長各部課長警察署長ニ於テ徴收金ニ對シ領收証書ヲ納人ヘ交付スヘシ

第十五條 爲換方ハ第二條ノ納付書ヲ受クルルハ証印濟ノ上正副ヲ切斷シ正書ハ納人ヘ返付シ副書ハ爲換方ニ留置之ニ據リ帳簿ニ記入ス

第十六條 爲換方ハ前條副書ニ依リ各年度ヲ區別シ每一ヶ月預リ金高報告書ヲ製シ其末日地該ヲ發シ收稅部ヘ送付ス

第一號書式

イ印ハ爲換方ノ印
ロ印ハ爲換方取扱人印
用紙適宜寸法凡縦五寸四分
横三寸五分 貳枚綴キ

正第何號	明治何年度	何費雜收入	何々代
一金何圓		何年何月何日 領收① 郡市長何部何課長何地警察署長 名印	
右納付候也 明治何年何月何日			
副第何號	明治何年度	何費雜收入	何々代
一金何圓		何年何月何日 領收② 郡市長何部何課長何地警察署長 名印	
右納付候也 明治何年何月何日			

(第二號書式)

明治何年度地方稅雜收入何月中收入濟報告書

第何号

一金何程

何費雜入

内

金何程

何々(小科目)

金何程

何々

(但收入性質及種類ヲ詳記ス)

右報告候也

年 月 日

郡市長何地警察署長

氏 名印

部長宛

(收入ノ性質ニ依リ其主管ノ部長ニ宛ツヘシ以下同シ)

(第三號書式)

第何號

明治何年度地方稅雜收入已納金下戻請求書

一金何程

何費雜收入何々(小科目)

但何年何月何日第何號收入濟報告書ノ内何々事由ニ依リ過納ノ分
一金 何 程 何 々 前 同

但何年何月何日第何號收入濟報告書ノ内何々事由ニ依リ誤納ノ分
計金 何 程

右書面ノ通御下具之度候也

年 月 日

郡市長何地警察署長

氏 名印

部 長 宛

(第四號書式)

第何號

明治何年何月分

訂正地方稅雜收入收入濟報告書

高金 何 程

原 報 告 高

一金 何 程

何 々 (大 科 目)

内(外)

金 何 程

但明治何年何月何日第何號收入濟報告書ノ内何々ノ事由ニ依リ増(減)額ノ分
右 報 告 候 也

年 月 日

郡市長何地警察署長

氏 名印

部 長 宛

(第五號書式)

明治何年度地方稅決算書

一金 何 程

何 費 雜 入

内譯

金 何 程

何 々 (小 科 目)

金 何 程

何 々

右決算書面ノ通相違無之候也

郡市長何地警察署長

氏 名印

年 月 日
部 長 宛

(第六號書式)

明治何年度地方稅雜收入何月中徵收濟報告書

第何號

一金 何 程

雜 收 入

內

金 何 程

何 費 雜 入

內

金 何 程

何地出張爲換方

金 何 程

何地出張爲換方

金 何 程

何 々

內

金 何 程

何地出張爲換方

金 何 程

何地出張爲換方

(各費ニ屬セサル分ハ詳記ス)

右報告候也

年 月 日

何部何課長

氏

名印

知 事 宛

(第七號書式)

第何號

明治何年度地方稅已納金下戻請求書

一金 何 程

何 費 雜 入

但何年何月何日第何號徵收濟報告書ノ内何々事由(事由詳記ス)ニ依リ過納ノ分

何 々

但何年何月何日第何號徵收濟報告書ノ内何々事由ニ依リ誤納ノ分

計金 何 程

右書面ノ通御下戻有之度候也

年 月 日

何部何課長

氏

名印

知 事 宛

(第八號書式)

明治何年度地方稅雜收入豫算増(減)調書

第何號

豫算金何程

一金 何 程

但何々事由ニ依リ増(減)類
右報告候也

何 費 雜 入

何部何課長

氏

名印

年 月 日

知 事 宛

(第九號書式)

明治何年度地方稅決算書

一金 何 程

何 費 雜 入

内

金 何 程

何々(小科目)

金 何 程

何々

右決算書面ノ通相違無之候也

何部何課長

氏

名印

年 月 日

知 事 宛

第何號 (誤記訂正ノ分)

明治何年何月分

訂正地方稅雜收入徵收濟報告書

高金何程

原 報 告 額

一金 何 程

雜 收 入

内(外)

金 何 程

何 費 雜 入

何地出張爲換方

但明治何年何月第何號徵收濟報告書ノ内何々事由ニ依リ増(減)類ノ分

右報告候也

何部何課長

氏

名印

年 月 日

知 事 宛

第四款 文具支給規則

○訓令第四十一号

二十二年三月廿六日

各部(收稅部ヲ除ク)

郡 役 所

地方稅支弁ニ屬スル文具支給規則別紙ノ通相定メ來ル四月一日ヨリ施行ス

但明治二十二年三月三訓令第廿五號ハ廢止ス

(別紙)

文具給與規則

第一條 此規則ニ於テ文具ト稱スルハ明治二十二年二月閣令第四號文具支給規則第一條ニ揭シル物品ヲ總稱ス

第二條 官吏及備員 門衛小使ノニハ現品ヲ給セス文具料トシテ左ノ等給ニ應シ代料ヲ以テ給與ス

一等 一ヶ月金貳拾錢

簿記事務者書記事務者寫字事務者及右ニ該當スル職ヲ奉スル者

二等 同 金拾五錢

普通ノ官吏備員内勤巡查及巡查教習所受業生 但製圖者製表者ノ類モ此内ニ包含ス

三等 同 金拾錢

教員醫員工場監督者測候所等ノ技術者豫備巡查駐在所詰巡查及右ニ該當スル職ヲ奉スル者

四等 同 金五錢

止宿所詰巡查看守押丁但用ニル所ノ文具最僅少ノモノハ半額ヲ減ス

第三條 前條ノ代料ハ翌月七日支給スルモノトス但休日ニ當ルハ順延ス

第四條 新任轉任非職廢官退官及死亡共當月分ノ文具料ハ全額ヲ給ス

第五條 非職廢官退官ノ者事務引繼職務取調ノ爲メ特ニ命テ承ケ公務ニ從事スルトキハ其

間尙從前ノ文具料ヲ給與ス

第六條 願濟休暇旅行若クハ病氣又ハ私事ノ故障ニ依リ上廳セサル月ハ文具料給與セス

第七條 應接所人民扣所門衛詰所等ハ定數ヲ設ケ現品ヲ配置ス

第五款 地方稅約東郵便規則

○訓令第十五号

二十年一月廿八日

各部 郡役所 浦役場

當縣内郵便物ノ義今般驛遞局長ト約東郵便ヲ締結候付別紙地方約東郵便規則ノ通來ル四月一日ヨリ施行ス

(別紙)

地方約東郵便規則

第一條 左ニ記載スル公用郵便物ハ當縣内往復ヲ限リ郵便切手ヲ貼付セザルモノトス

第一節

- 縣 廳
- 警察署
- 監獄
- 郡市役所
- 右郡街ニ屬スル廳衙
- 右廳街ノ吏員郡市長同書記及雇
- 縣立學校
- 縣立病院
- 縣立蠶糸業事務所
- 右縣立學校病院蠶糸業事務所ノ吏員

ノ間互ニ往復シ及ヒ諸向ヘ達スルモノ

第二節

一 浦役場

ノ間互ニ往復シ及ヒ第一節ニ掲載スル諸向及ヒ町村役場町村長ニ達スルモノ

一 常置委員會

一 浦役入縣會議員常置委員

第二條 第一條ニ掲載スルモノ、外ハ総テ郵便切手ヲ貼付スヘシ

第三條 第一條ニ掲載スル公用郵便物(則郵便切手ヲ貼付セザルモノ)ト雖、凡書留手數料別配達料ハ郵便切手ヲ貼付スヘシ

第四條 第一條ニ掲載スル公用郵便物ハ壹個毎ニ表面ニ公用ノ二字ヲ朱記シ發郵スヘシ郵便局ニ於テハ此文字ヲ目的トシテ稅濟ノ印ヲ捺押シ遞送配達スルモノトス

第五條 第一條ニ掲載スル公用郵便物ハ廳衙名ヲ記シ或ハ官名役名及氏名ヲ併記シタルモノニ限レバシ

第六條 第一條ニ掲載スル公用郵便物ニ公用ノ文字朱記ナキカ或ハ第五條ノ記載方ヲ爲サハルモノハ一般郵便物未納稅ノ例ニ依リ郵便局ニ於テ郵便切手ヲ貼付シ收稅スルモノトス

第七條 第一條ニ掲載スル公用郵便物ハ稅前納コトヲ無稅ノ筋ニアラス故ニ豫テ設ケタル郵便物數表(該表ハ第一部)ニ其種類ヲ分テ記載シ毎月(其月分ヲ翌)當廳第一部ニ報告スヘシ

但浦役場ハ所轄郡役所ニ差出シ郡役所ハ之ヲ取纏メ差出スヘシ

第八條 第一條ニ掲載スル公用郵便物ハ糊封開封ノ區別ニ拘ハラザル性質ノモノヲ封緘シ發郵セザル様勉テ注意スヘシ

第九條 前條々ニ掲載スルノ外公用郵便物取扱方ハ一般郵便物同様ナルヘシ

第六款 巡查持區内日當月額支給規則

○訓令第九十四號 二十二年五月廿二日 警 察 本 部

外勤巡查持區内日當月額支給方左ノ通相定メ來ル六月一日ヨリ施行ス

外勤巡查受持區内日當月額支給規則

第一條 外勤巡查持區内日當ハ月額金四拾錢ヲ支給スヘシ但駐在所止宿所ヨリ其所屬警察署分署ヘノ里程二里以上四里未滿ノケ所ハ金貳拾錢四里以上六里未滿ハ金四拾錢六里以上ハ金六拾錢ヲ増シ尙線路巡回中宿泊ヲ要スルケ所ハ一ケ月中ノ泊數ヲ豫定シ一泊金貳拾錢ノ割合ヲ以テ増額ス

第二條 左ノ場合ハ日割ヲ以テ日當月額ヲ扣除ス

一 賜 暇

一 私事故障ニ依リ欠勤

一 豫備及後備軍籍ニアル者召集中

一 願濟旅行

一 管内外及赴任旅費ヲ支給スル日

第三條 病氣引(職務上負傷及傳染病ニ罹リタル場合トモ)又忌引ノ者日數七日迄ハ全額ヲ給シ八日以上ハ日割ヲ以テ扣除ス

第四條 新任ノ者ハ在勤所へ到着ノ翌日ヨリ他官へ轉任又ハ免職ノ者ハ辭令受領ノ日迄死亡者ハ其日迄右日割ヲ以テ支給ス

第五條 在勤所ヲ轉スルキ又ハ出勤豫備ヨリ外勤ニ轉スル等ノ如キ場合ハ総テ日割ヲ以テ支給ス

第六條 警察署直轄及分署所轄ノ止宿所駐在所ヨリ其警察署分署へ又ハ同止宿所駐在所等互ニ相往返スル如キハ此月額ノ範圍内トシ別ニ旅費日當ハ支給セズ

第七條 日當月額ハ翌月五日ヲ以テ支給ノ定日トス
但轉任免職等ノ節ハ此限ニアラス

第八條 第一條ノ區別ニ依リ所毎ノ金額ヲ定ムルキハ更ニ認可ヲ受クヘシ

第三十章 雜

第一欸 允請巡查經費區分表

○達第二百八十六號 十七年五月一日

警察本署
會計課

允請巡查ニ係ル經費區分表ノ通相定候條此旨相違候事

但巡查ニ給與スル費用ノ外ハ請願者ト結約ノ上適宜現物ヲ出サシメ使用スルモ苦カラス
(別表)

允請巡查經費區分表

請願者ヨリ支弁ノ費目
巡查俸給
全旅費
全持區内賄料
全滿年賜金
全賞與
全勉勵手當
被服屬具費
小使給料
全旅費
一時入夫及船橋等ノ諸雇賃
巡查吊祭扶助療治料
備品
消耗品
郵便稅

警察署ヨリ支弁ノ費目
一時醫員旅費
証人無罪解放入旅費
鑑定人等雇賃
一時醫員雇賃
〔犯罪人護送途中渡船橋賃并ニ駕籠人力車繩
取入夫不寝番人等雇賃
臨時探偵人等雇賃
病囚及死者ニ屬スル諸費
一時救難ニ係ル諸費
犯罪人用草鞋雜紙等
呼出証人賄料
留置人賄料
犯罪人護送途中賄料

迎搬費
 巡查臨時賄料
 小使臨時賄料
 全宿直賄料
 借地借家料
 傳染病豫防藥等ノ類

第二款 官吏辨當料支給方

○達第三百九拾三號

十九年五月五日

課

署

官吏其他ノ弁當料來ル十六日ヨリ左ニ掲クルモノ、外ハ支給セス
 右相違ス

一官吏及雇ノ者夜業

壹度分

金 三 錢

一宿

直 不寝番共

一夜金 三 錢

看 守

一夜金 貳 錢 五 厘

雇見坐
 獄取締
 女監
 押人
 小番
 使丁

第三款 窓掛ケ帽子掛及各種ノ點火器廳費ノ件

○達第三百五號

十九年四月六日

課

署

從來廳舎修繕費支出ニ係ル窓掛ケ帽子掛及各種ノ點火器十九年度以降ハ廳費ニ屬ス
 右相違ス

第四款 一般人民及給仕小使等旅行車馬賃日當

○達第六百五號

十九年七月七日

課

署

一郡市書記縣立學校々長教員及病院長等ノ旅費ハ明治十九年閣令第十四號ニ依リ支給ス
 一但師範學校長同教頭ハ四等旅費其他ノ職員ハ月俸四拾圓以上ハ五等旅費月俸四拾圓未
 滿及ヒ郡市書記ハ六等旅費ヲ雇員ハ同年內務省令第十一號甲號表ニ依リ支給スルモノト
 ス

一郡書記郡役所雇ハ其部内ノ旅行ニ限リ左ノ旅費ヲ給ス

郡 書 記	車馬賃一里毎ニ	金 四 錢
雇	日 車馬賃壹里毎ニ	金 三 錢
	日 車馬賃壹里毎ニ	金 貳 拾 錢

一一般人民並給仕小使職工等ノ者公務ノ爲旅行セシムルトキハ一切ノ費用トシテ六里以上
 ヨリ其泊數ニ應シ左ノ日當ヲ給ス但六里以上ニシテ日歸リノモノハ日當一日分ヲ給ス

日 當

金貳拾五錢

一前項ノ旅行ニシテ六里未滿ハ其用柄ニ依リ泊數ニ應シ日當ヲ給スルコトアルヘシ其場合ニ於テハ事實ヲ具シ伺出ヘシ
右相違ス

第五款

警察官吏派出旅行日數豫定

○通第六百貳拾號

十九年七月九日

警察本部署

警察官吏御用掛各地派出ノ義伺出ノ節ハ豫メ事務ノ便宜路程ノ近便等ヲ量リ經過ノ路筋旅行日數ヲ詳具スヘシ警察署所轄内并ニ遞傳護送等ニ派出セシムルモノ又ハ事緊急ニシテ伺出ノ暇ナキ時ニ於テハ前件ヲ豫定シ所屬長ヨリ本人ヘ指示スヘシ尤緊急ノ爲メ派出ヲ命シタル後申出ルキハ前件併セテ届出スヘシ
右相違ス

第六款

地方税ノ支辨月俸支給方

○訓令第七十三號

十九年八月廿五日

各 郡 市 役 所
町 村 役 場

地方税ヲ以テ支辨スル俸給支給方左ノ通改正ス

一縣立學校々長教員書記并巡查看守戸長ノ俸給ハ本年五月大藏省令第二十號判任官俸給支給細則ニ依ルヘシ

一郡市警等ノ年俸ハ之ヲ十二分シ其一分ヲ毎月支給ス但一ヶ月ニ滿タサル端日數ハ總テ日割ヲ以テ計算スルモノトス其他ハ前項ニ同シ

一給仕小使ノ如キハ月給ト雖ハ雇入并差免等ノ月端日數ハ總テ日割ヲ以テ支給スヘシ
一前項々ハ來ル九月一日ヨリ施行ス

但警察本部并ニ郡市役所ノ施行期日ハ別ニ達スヘシ

第七款

國庫第二部歳入收納金納付方

○訓第五十一号

二十一年四月四日

警察本部

國庫第二部歳入ニ屬スル左ノ收納金ハ自今取扱主任ヨリ其時々最寄所在ノ國庫金出納所又ハ出納支所ヘ直ニ納付スヘシ

- 一 連警罪科料金
- 一 賭博犯科料金
- 一 同没收金
- 一 警察官拾得金

第八款

第二部歳入金納付報告書

○訓第九十五號

二十年十一月廿六日

警察本部

本年四月當縣訓第五十一號ニ依リ第二部歳入金ヲ金庫ニ納付セシメタルハ別紙書式ニ據

テ徵收額報告書ヲ調製シ翌月五日迄ニ當廳ニ送付スヘシ

但本文ハ來ル十二月分ヨリ施行ス

右訓令ス

(別紙書式)

何年度第二部歳入徵收額報告書

一金 何 程

何年何月中徵収額

内 司法省主管雜收入懲罰金及沒收金

金 何 程

罰金及科料

和歌山縣主管雜收入懲罰及沒收金

金 何 程

罰金及科料

全 上

金 何 程

沒收金

全 上

金 何 程

警察官吏拾得金

雜 入

右報告候也

年 月 日

知 事 名 宛

警察本部ハ主任官

某警察署長 官 姓 名 宛

正 誤

三丁十二行(十九賭博犯處分ニ關スル事)三丁二十行(及巡查積金)四十六丁二十一行(若クハ賭博犯)五十一丁十行(賭博犯則表全)五十二丁十八行(〇一賭博犯處分錄十年)ハ衍
明治廿二年六月三十日

(非賣品)

和歌山縣警察本部出版

印刷人

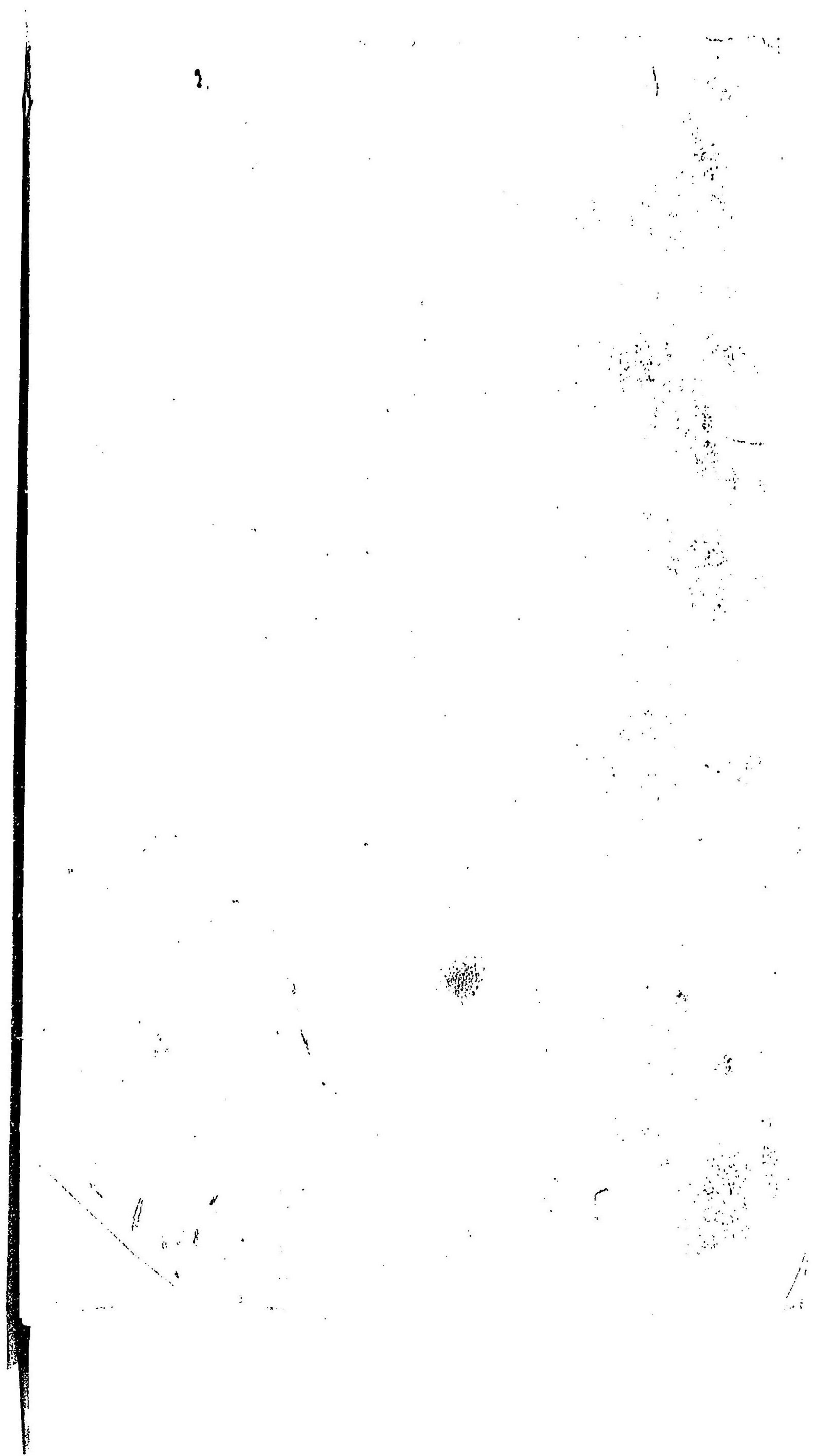
植村茂夫

和歌山縣和歌山市大字
新堀七軒丁拾一番地

印刷所

耕文舍

和歌山縣和歌山市大字
十一番丁七番地



CZ
1351
82-01

和歌山縣警察規則

和歌山縣警察本部

昭和二十六年六月

033585-000-4

CZ-1351-82-01

和歌山縣警察規則

和歌山縣警察本部

M22

BBK-0428

